

## 会議録

会議の名称	平成23年度第5回行財政改革推進委員会
開催日時	平成23年10月31日（月曜日） 13時30分から15時30分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：横道委員長 岡田委員 吉田委員 鈴木委員 中村委員 米森委員 山田委員 上野委員 事務局：池田企画部長 森本参与兼企画政策課長 柴原財政課長 横田企画部主幹 佐野企画政策課主任
議題	1 平成22年度決算の状況について 2 事務事業評価における外部評価（試行）について 3 公共施設の適正配置等に関する基本計画について 4 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市財政白書（平成22年度決算版） 事前送付 資料2 平成23年度事務事業評価 外部評価（試行） 評価結果（案） 資料3 平成23年度事務事業評価 パブリックコメントへの回答（案） 資料4 公共施設の適正配置等に関する基本計画について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会</p> <p>議題1 平成22年度決算の状況について</p> <p>○横道委員長： 議題1について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>○事務局： 資料1に沿って説明</p> <p>○横道委員長： ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。</p> <p>○横道委員長： 内容としては非常に分かり易く出来ていると思う。冊子は相当数配布しているのですか。</p>	

○事務局：

出前講座等を開催した時に参加者の方に配布したりしていますが、一般の方にはなかなか配布するところまでに至っていません。ただ、議員等からも指摘をいただき、分かり易い内容となるよう、適宜見直しや修正をしています。

○上野委員：

汚水処理費の回収比率が都内26市平均と比較すると差が大きいと感じるが、その主たる要因はどのように考えているのですか。

○事務局：

要因の1つは当然料金のレベルということが挙げられます。また比率ですので処理経費に公債費や施設整備費などの費用なども含まれており、年度によって差も生じてまいります。特に西東京市の場合、合併したときに負担は低くという原則があったため、人口の多い保谷市の分を、料金の低い田無市に合わせた経緯もあり、現状での料金はかなり低い状況となっています。これまでも見直しはしてきておりますが、今後も改善が必要と考えています。

○横道委員長：

経常収支比率は改善されているが、三位一体改革の見直しにより、地方交付税措置などが増えたことが大きな要因となったということですね。

○事務局：

そうです。

## 議題2 事務事業評価における外部評価（試行）について

○横道委員長：

では、議題2に移ります。事務局から説明をお願いします。

○事務局：

資料2に沿って説明

○横道委員長：

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

○各委員：

特になし

○横道委員長：

それでは、この内容で委員会としての外部評価結果とします。

○各委員：

了承。

○横道委員長：

次に、事務事業評価におけるパブリックコメントの回答（案）について、事務局より説明があります。本委員会でも内容の決定等をするものではありませんが、関連事項として説明してもらいます。

○事務局：

資料3に沿って説明

○横道委員長：

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

○各委員：

特になし。

○横道委員長：

次に、外部評価（試行）を実施した感想や気付いた点などについて、委員の皆様からご意見をお願いします。

○米森委員：

市民といっても全ての事業を知っているわけではないので、勉強する点も多かった。外部の視点から事業を評価するということで、業務の内容を明らかにする意味はあったと思う。ただ、私自身としてはどのぐらい客観的に仕事の質とか量を理解した上で議論することができたのか、難しさを感じました。

時間の制約がある中で実施するには、今回のようにテーマを絞ることや評価対象事業を少なくするなどの工夫が必要と感じました。

○山田委員：

実際に仕事をしている職員の方と市民との意識の差を感じました。ただ、半面、仕事をしてみないと分からないこともあると思うので、難しさを実感しました。

委員間での評価をする段階では、職員の方は退席する形で実施となったので、気兼ねなく自由に意見交換でき、大変良かったと思いました。

○中村委員：

私も様々なことを勉強させていただいたというのが率直な気持ちです。ただ、そもそも市財政が厳しい状況があつてこのような行政評価を実施していると思うので、事業を説明する職員の方は、そのような状況の中でもこの事業を実施することに対する必要性や重要性などをもっとアピールしてほしいと感じました。

○鈴木委員：

評価の目的がいくつかある中で職員の説明能力の向上というのがあったが、聞かれることで事業をもう一度見直すことはあると思うので、その点では今回の取組は良かったと思いました。ただ、市民視線での評価ということだったが、客観性とか具体的な根拠

など、足りなかったのかとも思っています。

行財政改革の一環として実施しているのであれば、ここまで市民に分かりやすくコメントを纏めなくても良いのではないかと思います。また、今後の事業計画や施策形成に活かすことを想定すると、外部評価のコメントはもう少し具体的に意見の内容を伝えていく形をとる方が良いと思いました。

○上野委員：

限られた時間の中で外部評価を実施することの難しさを感じました。ただ、パブリックコメントに寄せられた意見もそうなのかもしれませんが、市民に対して行政が本来提供すべき本質的な中身は何かということについて、時代の変遷とともに考える必要があると感じました。

○岡田委員：

行政の本質的な意味合いとして、何をやり、どのように実施するのかということは、不断に求められることであって、そのことを日頃から考えている人ほど事業の意味などを正確に答えることができるが、反対に惰性でやっている方は答えにくいという状況があると思います。今回の外部評価において説明を受けた限りでは、惰性で事務を行っていると思えるところが垣間見られました。その点はとても残念でした。

○吉田委員：

抜本見直し2事業、廃止2事業となったが、外部評価を実施した意味は十分にあったと思います。職員が仕事をする上で、PDCAサイクルが定着していないように思えた。従来型の手続思考による業務実施がそのまま残ってしまっているように思えます。

○横道委員長：

結果としては4事業ともに大変厳しい評価となった。今回は試行との位置付けで実施したが、今後この評価の方向で見直しをしてほしいと思う。また、今回のように2回に分けて実施するなど、このくらい時間をかけて実施しないと評価するのは難しいのではないと思う。評価対象事業数についてもこのくらいが適当だと思う。

また、今回は残念ながら傍聴人は居なかったが、かえって良かったのかなと思う。あまりパフォーマンス的に実施するのではなく、落ち着いた環境で議論できるような形をつくる必要があると思う。

○横道委員長：

今回は、委員間での最終評価の議論をする時に担当者を退席させたが、残っていても良かったのかどうか、その点について何かご意見はありますか。

○鈴木委員：

担当者は残って評価を聞くと思っていましたが、今回のように退席させるのであれば、少なくとも議論の内容を伝えるようにしてもらいたい。

○岡田委員：

気にしなければ良いのかもしれないが、今回の評価者の中には市民の代表の方もいる

ので、発言など気兼ねしてしまうケースも生じるのではないかと思います。今回退席させたことは工夫された結果なのかなと思います。ただ、議論の内容を録音するなどして担当者には伝えるようにしたほうが良いと思います。

○横道委員長：

議論の内容については、会議録等を担当課に回すなど、何らかの方法で伝えるようにすることが大事だと思うので、事務局の方で対応してもらいたい。

全体的に見ると、今回のやり方で良いのではないかと思います。

○横道委員長：

時間配分についてはどうでしたか。

○岡田委員：

時間をかけて議論を続けることで、新しい発見をするケースや良い結果が形成されるケースも多いが、最終的には人によるものなので何とも言えない。

○鈴木委員：

担当課の方から、もう少し説明する時間がほしかったなどの意見はあったのでしょうか。

○事務局：

説明の時間が足りなかったというような意見はありませんでしたが、説明の仕方としてもう少し上手に説明できれば良かったとの意見がありました。

また、厳しい評価となることが想定される事業を選んで実施しているということもありますが、事業を所管する担当課としては、議論が行き違うことも、ある程度やむをえないとあらかじめ認識している部分もありました。

○横道委員長：

繰り返しとなるが、落ち着いた雰囲気の中で各評価者が議論できる環境が大事だと思うので、今後また実施する場合には、その点に十分配慮してほしい。

○横道委員長：

意見が他に無いようであれば、パブリックコメントも含めて外部評価は今後どのような取り扱いとなるのか事務局から説明をお願いします。

○事務局：

最終的には評価報告書という形で冊子を作成いたします。これまでの冊子は、最初に制度の説明と対象事業の一覧、次に各評価シート、最後に中間結果及び市民意見に関する本委員会の提言書という形でまとめていましたが、本年は提言自体がございませんので、これに変わる形で今回の外部評価（試行）についての実施内容、実施結果、実施後の評価などをまとめたものを作成し、巻末に掲載させていただきたいと考えております。なお、発行時期については、例年ですと12月頃の作成としておりますが、他の案件などの状況によっては年明けとなることもあると考えております。

○横道委員長：

最終的には行革本部での評価が最終評価となると聞いているが、今回の外部評価の結果についても行革本部に伝えるわけですね。

○事務局：

そうなります。なお、1点補足ですが以前にご説明していますが、今回は評価シートの変更をしておりませんので、外部評価を行なった事業についてシート中に評価結果を掲載することや、その本部評価で外部評価の結果について触れるようなことはございませんので、ご承知置きいただきたいと思います。

○鈴木委員：

今回の最終評価については、どのタイミングで、どのように知れるのか。

○事務局：

明日の行革本部で最終決定をする予定です。また、報告書として冊子を作成したところで公表していく予定です。

### 議題3 公共施設の適正配置等に関する基本計画について

○横道委員長：

では、議題3に移ります。事務局から説明をお願いします。

○事務局：

資料4に沿って説明

○横道委員長：

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

○横道委員長：

想定される施設建設事業費として規模的に大きいのは、小中学校の建替えとなりますか。

○事務局：

何校建替えるのかにもよりますが、分野別に見ると小中学校の部分は大きな額となると思います。

○横道委員長：

公民館と市民交流施設の役割分担や統合についても、今後の課題ですね。

○事務局：

公民館は社会教育施設ということで職員を配置し、一定程度の教育的な観点から市の方で主催事業を用意して講座等を開催しています。一方、市民交流施設は市民の各種グ

ループなどにより自発的な利用がされている状況です。施設数は、現在公民館が6館、市民交流施設が26施設となっておりますが、年度末に2施設廃止となりますので、24施設です。この配置数は適切なものか。市民交流施設の利用は増えてきていて、反対に公民館利用者は減ってきている状況ですので、利用状況の改善を図ることや、施設目的の変更によって何らかの対応をするのかなど、分野をまたがった議論をする必要があると考えております。

○横道委員長：

児童館、学童クラブ、保育園はどうですか。待機児童はいますか。

○事務局：

保育園については、今年度から定員枠を増やし対応を図っておりますが、190人ぐらいおります。

○横道委員長：

基本計画のスケジュールはどうなるのか。

○事務局：

この後、行革本部に諮り最終決定する予定ですが、年度末には3ヵ年ごとの具体的な実行計画を作成する予定としています。

○吉田委員：

意見として述べますが、計画全体を見ると、1点目として施設サービスの削減計画との印象である。施設の適正配置をした結果として、市民にどのような新しいサービスを提供するのかといった内容が見えない。市民にとっては、ただ施設が無くなるというイメージとなるのではないかと思う。また、2点目として、公共施設だけでなく市内には民間施設も多くあると思うので、そのような民間ストックを利用させるような取組についての記述の部分があってもいいのではないかと思う。3点目として、縦割りから脱却するという点が見えてこない。施設利用については各所管の枠を超えた活用の方法をもっと検討した方がよいのではないかと思う。

○事務局：

ご指摘の部分は基本方針の中で触れている部分もありますので、最終的には基本方針と本計画とを合作する形で考えています。また、削減だけでなく、学童クラブや保育園などの施設は一定程度拡充の方向性を持っているところでもあります。また、公民館と市民交流施設などは教育委員会所管と市長部局所管ということで、所管部署をまたがった調整も行う予定としています。

#### 議題4 その他

○横道委員長：

その他として、事務局から何かありましたらお願いします。

○事務局：

次回は11月末頃と考えておりますが、他の案件との都合もあり、来年に持ち越しとさせていただきます可能性もありますので、日程が決まり次第ご連絡差し上げたいと考えております。次回の内容としましては、外部評価の検証結果について、行革本部における最終評価について、行革の取組みの中で進捗があったものなどについてを議題と考えておりますので、宜しくお願い致します。

○横道委員長：

それでは、本日の会議は終了します。

閉会